

## 《 地域材使用 三層材について 》

上伊那森林組合

[伊南工場]

長野県駒ヶ根市赤穂9743

JAS認定/信州木材製品認証工場

当組合には信州木材製品認証工場があり、主として長野県産材を使った建築用材を製造しています。特にカラマツ・アカマツの主要産地という点からフローリングを通年にわたり製造しています。合わせて造作用集成材のJAS認定工場でもあり、地域材を使った学童用机の天板や家具部材の製造も行っております。

最近では各地域材を使用した家具部材の製造依頼・お問い合わせが増え、可能な限り製造協力させて頂いております。特にオフィス家具メーカーさんからのご依頼のロッカー・ベンチ等の公共施設の備品が好評で、三層構造の扉は狂いが少なく、納入現場からのクレームはありません。

### 〔製造可能な三層材〕

スチールメーカー・木工加工業者より依頼があり、樹種・規格寸法を決定。

集成材1枚物よりも強度が高く反り難い三層材を扉に利用する事でスチールロッカーに求められる精度、『扉が反るとカギがかからない』という重要な部分も問題無くクリア。

おかげさまで当組合工場製品をロッカー用扉として採用して頂きました。

#### 【納入実績】

##### ■スギ三層集成材

規 格(mm)	数量(枚)
23*439*425	916
23*290*855	273

##### ■カラマツ三層集成材

規 格(mm)	数量(枚)
25*695*394	2
23*295*295	4
30*180*1550	4
30*475*1550	4
25*188*252	70
25*384*252	10
25*335*292	40

物件：港区スポーツセンター  
女川温泉温浴施設 等

### 〔信州《上伊那地域》で調達可能な木材〕

ひとつの県において4樹種の針葉樹が調達可能であることが長野県の特徴です。その中でもカラマツ・アカマツは上伊那地区に多く分布し、2樹種で森林面積の50%以上を占めています。

##### ■上伊那地域 市町村別森林面積(ha)

8市町村合計	69,939
--------	--------

##### ■上伊那地域 樹種別割合

カラマツ	36 %
アカマツ	28 %
ヒノキ	8 %
スギ	2 %
広葉樹	25 %
その他	1 %

※伊那谷地域森林計画書 による数値  
(長野県ホームページより)



## 〔カーボンオフセット & 地産地消コラボ〕

伊那市は新宿区と友好姉妹都市の関係にあり、区内の公共施設への木製品納入を行っています。

また、平成20年2月より地球環境保全協定を結び伊那市内の森林を整備することで二酸化炭素削減に貢献して頂いています。この森林整備により搬出された木材を有効利用することができます。

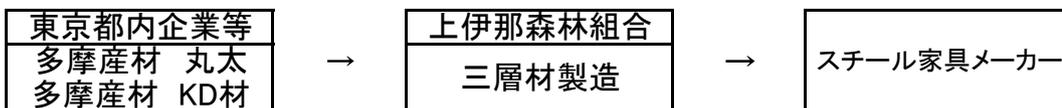
### ■二酸化炭素吸収量実績

平成21～25年度 456.3t-CO2

※新宿区ホームページより

また、東京都内のオリンピック・パラリンピック施設をはじめ、公共の建物において使用していただけるよう、多摩産材の活用を考えています。

### 【例】



### 製品に関するお問い合わせ

#### **KOYO 光葉アキール株式会社**

〔営業本部・工場〕 〒387-0023 長野県千曲市八幡4601-1  
[TEL] 026-292-1191(代) [FAX] 026-293-3750

〔東京支店〕 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-10-3 清水橋矢部ビル10F  
[TEL] 03-6300-5852(代) [FAX] 03-6300-5853